

作成日：R7年2月21日

令和6年度第6回 高松圏域自立支援協議会 精神保健福祉部会議事録

日付	令和7年2月21日(金)
時間	9:30 ~ 11:30
開催会場	かがわ総合リハビリテーション福祉センター第1研修室
参加機関等	地域活動支援センタークリマ、高松市健康づくり推進課、ライブサポートセンター、支援センターたかまつ、東讃保健福祉事務所、大西病院、障害者地域生活支援センターほっと、ピアサポーター、高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点、香川県精神保健福祉センター、三光病院 順不同 計12名

議題1： 情報提供

議事	<ul style="list-style-type: none"><li>・ビートかがわ、本部会及び高齢者福祉分野との連携に関する委員会を退会。</li><li>・三光病院、本部会を休会。人員確保できれば再開予定。</li><li>・高松市社会福祉協議会の終活セミナー『終活を始める前に知っておきたいお金の話』3月19日高松市社会福祉協議会にて開催。</li><li>・移動支援WGでは、現状と課題、ヘルパーの生の声や運営上のやりにくさ等について協議。需要はあるが事業所の廃止が増えている。</li><li>・3月は自殺対策強化月間として<ul style="list-style-type: none"><li>→3月3日夕方、高松駅にて相談窓口の普及啓発開催。</li><li>→3月10日は電話相談窓口を21時まで開所。</li><li>→3月17日～21日県庁1階ギャラリーにこころの健康展のパネル展示。</li><li>→県精神保健福祉センターでは精神保健福祉相談、コンサルテーションの役割として支援者向けに、ケースについて見立てをしてくれる相談枠がある。</li></ul></li><li>・2月28日東讃圏域協議会にてランコントロール企画について情報共有。</li><li>・精神保健福祉法上の都道府県知事への通報について。</li><li>・相談支援専門員が精神科訪問看護事業所をあたることが多い。日頃から精神科訪問看護ステーションとの連携があると、各事業所の特徴やどんな看</li></ul>
----	---

	<p>護師がいるかなど知ることが出来、本人へよりよい資源提供ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高松市自殺者数は令和 5 年に急増したが令和 6 年は減少傾向。中高年の男性に多い。3 月～4 月、ホルモンの的にも体調不安定となりやすい時期である上に年度替わりの大きな区切り、環境変化により不安定になりやすい。</li> <li>・アイパル香川には、かがわ外国人相談支援センターがあり通訳等ボランティア派遣の活用が可能。</li> <li>・ピアサポーター、当事者の居場所『はばたき』の令和 7 年度版チラシ完成。毎月第 2 月曜 15 時～16 時開催、次回 3 月 10 日ミニ勉強会。</li> <li>・『リカバリーカレッジおいでまいさぬき』をピアサポーターと支援機関(香川大学医学部看護学科教授、香川県障害福祉課、三光病院看護師、高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点など)とでリカバリーのための講座を企画・開催している。昨年 12 月プレ開催、夏期に本開催。精神保健に興味のある方は誰でも参加可能。</li> </ul>
--	---

<p>議題 2： 精神科病院の現状と課題を共有</p>	
<p>議事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高松市内で英語対応のある精神科・心療内科医療機関についての問い合わせがある。翻訳機器ポケトークを活用しコミュニケーションを図ることもあるが、医療機関ではどのような対応をするのか。</li> <li>→A 病院:実際に病院へ来てもらい聞き取り。海外出身の医師がいるため、対応をすることもあり大体は受けている。</li> <li>→B 病院:事前問い合わせでは、会社同僚・上司、友人からが多い。ある程度本人が日本語で話ができることが前提もしくは日本語の分かる同行者がいることが前提で対応。難しい場合は香川医大を紹介することもある。</li> <li>・介護保険下で障がいを理解し受入れ可能な施設は増えているが、障がいの GH になると日中活動(デイや就労など)を求められることが多く、また 5 年を目途に退所を目指して欲しいと言われることもあり、本人の心理的負担になり地域移行に踏み出せない方が多い。長期入院者は活動量低下しているケースも多いので、入居条件自体のハードルが高い。地域のアパートにおいては、障がいを理由に不動産会社から断られることもあり、これは障がい者差別に関わる相談窓口の一つとして、香川県障害者福祉相談所へ相談することも策かもしれない。自己破産、携帯未払い歴などが一度でもあると保証会社審査が通らないこともあり、地域移行する中で障壁となるものがまだまだある状況。</li> </ul>

議題 3： 保健・医療・福祉の連携企画委員会の報告

議事	<p>&lt;ランコントロール企画&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹相談支援センターの紹介、交流:12月C病院へ訪問</li> <li>・ピアプログラム:1月D病院へ訪問</li> </ul> <p>ピアサポート活動推進委員会とコラボ開催。</p> <p>D病院から13名(地域連携室ワーカー・看護師)、入院歴のあるピアサポーター7名参加。ピアサポーターを知らない医療従事者もあり、ピアサポーターや活動自体を知ってもらうための取組みも必要と感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域移行プログラム:2月C病院へ訪問</li> </ul> <p>退院を検討する際には、相談しトライしていくことや、相談員同士の顔の見える関係ができたか。</p>
----	--

議題 4： 高齢者福祉分野との連携に関する委員会の報告

議事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホーム Lapause の相談支援専門員が4月より相談支援事業所開所。</li> <li>・高松市訪問介護事業所連絡会との研修のポイントや開催形式について、引き続き、先方とのすり合わせを行う。次回4月14日(月)打ち合せ。</li> </ul>
----	--

議題 5： ピアサポーター・スーパーバイザー派遣の報告

議事	<p>&lt;ピアサポートの活用に係わる事業(個別支援)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に在住の精神障がい者にピアサポーターを派遣2件</li> </ul> <p>&lt;ピアサポートの活用に係わる事業(その他)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月6日(月)/22日(水)高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点にピアサポーターを9名派遣</li> <li>・1月24日(金)高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点にピアサポーターを2名派遣</li> <li>・2月12日(水)かがわ総合リハビリテーションセンター成人支援施設就労移行支援事業所へピアサポーターを1名派遣</li> </ul>
今後の動き	<p>&lt;ピアサポートの活用に係わる事業(個別支援)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月26日(水)市内在住の精神障がい者へピアサポーターを派遣予定。</li> </ul>

<令和7年度第1回開催日程>

日時：令和7年4月18日(金)9:30~11:30

場所：かがわ総合リハビリテーションセンター福祉センター第1研修室